

## ニカラグア内政・外交定期報告(2011年11月・12月)

2012年1月

在ニカラグア日本国大使館

### 1. 内政

(1)大統領選挙関連(世論調査結果除く)

(イ)11月3日、OAS選挙監視団が、同選挙プロセスに関し声明を発表し、いくつかの緊張を伴う事項、心配すべき事項が存在する旨指摘した。

(ロ)11月6日、大統領・国会議員・中米議会議員選挙が行われた。

(ハ)11月7日、国内のマスコミ、野党、市民団体、国内選挙監視団体等は、今次選挙で多くの不正を確認したとして、選挙の正当性を強く疑う立場を鮮明にしている旨国内報道各社は報じた。

(ニ)11月8日、EU選挙監視団は、選挙監視団予備報告書を提出したが、その中で選挙結果の透明性や公平性の欠如等について指摘した。

(ホ)11月8日、マドリス県クスマパ市及び北大西洋自治地域のシウナ市で、抗議を行うPLI支持者と警官隊が衝突した結果、数名の死者が出た。

(ヘ)11月15日、OAS選挙監視団は、OAS常任理事会において、6日に実施された大統領選挙に関する監視報告を行い、多くの不規則的事項が見られたにもかかわらず、OASが監視した投票所の開票結果は、最高選管が発表した選挙結果の数値傾向と概ね似たものであったこと等を指摘した。

(ト)11月15日、最高選挙管理委員会(CSE)は、6日に実施された正副大統領、国会議員、中米議会議員選挙につき、以下のとおり当選者の発表を行った。

○正副大統領

大統領:ダニエル・オルテガ

副大統領:オマル・ハレスレーベンス

○国会議員(全92議席)

FSLN連合:63議席(全国区議席13+地方区議席49+前大統領議席1)

PLI連合:27議席(全国区議席6+地方区議席20+次点大統領候補議席1)

PLC連合:2議席(全国区議席1+地方区議席1)

○中米議会議員(計21議席)

FSLN連合:14議席(選挙で獲得した議席13+前大統領議席1)

PLI連合:6議席

PLC連合:1議席

(チ)12月3日、不正が疑われる11月6日の選挙のやり直しを求め野党(PLI等)及び市民団体等がマナグアにおいて抗議デモを行った。平穩裡に行われ、混乱には至らなかった。

(2)大統領選挙世論調査結果

(イ)11月1日、Opinion y Analisis社は、大統領・国会議員選挙に関する世論調査結果を発表し

た。

オルテガ候補(FSLN)	48%
アレマン候補(PLC-PC)	26%
ガデア候補(PLI-UNE)	14%
キニヨネス候補(ALN)	0%
ゲバラ候補(APRE)	0%
どの候補者にも投票しない	12%

(口) 11月1日、「EL 19 Digital」(ネット版政府公報紙)は、大統領選挙に関する世論調査結果を発表した。

オルテガ候補(FSLN)	59.6%
ガデア候補(PLI)	15.0%
アレマン候補(PLC)	13.1%
キニヨネス候補(ALN)	0.5%
支持を明確にしない	10.7%

### (3) その他

(イ) 11月29日、2011年度第二次補正予算案が国会で可決された。

(ロ) 12月15日、国会は閉会した。

## 2. 外交

(1) 11月3日、米国はニカラグア及びホンジュラスに対するTPS(一時的身分保証)の18ヶ月の延長を発表した。

(2) 11月7日～12月末に、ダニエル・オルテガ大統領の再選について以下の国々及び国際機関より祝辞が届いた: ベネズエラ、キューバ、台湾、エクアドル、ペルー、エルサルバドル、ボリビア、ブラジル、ウルグアイ、ロシア、パレスチナ自治政府、ホンジュラス、イラン、チリ、ドミニカ国、パナマ、シリア、ドミニカ共和国、北朝鮮、サハラ・アラブ民主共和国、南オセチア、スロベニア、グアテマラ、パラグアイ、韓国、スリナム、ベトナム、インド、ザンビア、サウジアラビア、アルジェリア、南アフリカ、SICA、中米議会。

(3) 11月10日、米国は、6日に当国にて行われた大統領選挙について、「今次選挙は透明性に欠けていた。」と評するプレス・ステートメントを発表した。

(4) 11月22日、オバマ米国大統領は、駐ニカラグア米国大使に、フィリス・パワーズ現駐パナマ米国大使を登用する方向で検討中である旨発表した。

(5) 11月24日～26日、サントス外相はベトナムを訪問し、Truong Tan Sang 国家主席及び Nguyen Thi Kim Ngan 国会副議長等と会談した。

(6) 11月29日、ニカラグアを訪問した、Yang 台湾外務大臣はコロネル外務副大臣と会談した。また、翌30日、同大臣はオルテガ大統領と会談し、今後の経済協力等に関し意見交換を行った。

- (7) 11月29日、コロネル外務副大臣は、フィリス・パワーズ現駐パナマ米国大使に対し、ニカラグア政府が次期当地米国大使としてのアグレマンを付与した旨述べた。
- (8) 11月30日、韓国釜山で開催中の「第4回援助効果向上に関するハイレベル・フォーラム」(HLF4)に出席したサントス外相は、Kim Sung-Hwan 韓国外相と会談した。また、クリーンエネルギー発電分野における27.2百万ドルの借款の署名式が行われた。
- (9) 12月2日、オルテガ大統領はCELAC(ラ米カリブ共同体)に出席するため、ベネズエラを訪問した。
- (10) 12月5日、オルテガ大統領は、第13回トウクストラ対話と協カメカニズム首脳会合に出席するため、メキシコのメリダを訪問した。
- (11) 12月6日、ニカラグアの学者及び環境保護者等は、コスタリカが国境地帯のサンファン河岸で施工中の道路建設が隣接地域に与え得る環境破壊を理由に、コスタリカ政府を相手取り、中米裁判所に提訴した。
- (12) 12月15日、サントス外相は、欧州議会を往訪した。
- (13) 12月15日、アルバラード駐フィンランド・ニカラグア大使は、ラトビア大統領に信任状を捧呈した。
- (14) 12月19日、ロサリオ・ムリージョ大統領府市民広報審議役(大統領夫人)は、金正日総書記の急死に際し、オルテガ大統領が弔意を表する書簡を発出したことを明らかにした。
- (15) 12月19日、オルテガ大統領は、Cooper 駐メキシコ豪大使等と会談し、今後の豪・ニカラグア二国間関係の強化について意見交換した。
- (16) 12月22日、ニカラグアは、コスタリカが国境地帯のサンファン河岸で施工中の道路建設に関して、隣接地域の環境破壊を理由に国際司法裁判所(ICJ)に提訴した。

(了)